

わたしの教材・教具

埼玉・元支援学校教員
櫻井宏明



名刺づくり



Aさんの写真作品



スイッチ操作するAさん

友だちとつながる・生活を楽しむリモコンシャッター

み なさんもスマートフォンやタブレットPCで写真を撮ることが多いのではないでしょうか。自分も入った集合写真を撮るときなどに便利なのが、リモコンシャッター。300円（税別）のBluetoothリモコンシャッターを100円ショップで見つけました。シャッターのスイッチが小さいので、このままでは重度の肢体不自由の子どもたちは操作できません。そこで、私は外部にいろいろなスイッチのプラグがつなげられるようにジャック（60円くらい）を付けました。

一 れをつくったのは、高等部の生徒たちと写**二** 真撮影をしたかったからです。高等部の生徒たちは進路先を決めるために福祉事業所へ実習に行ったり、支援相談機関へ登録に行ったりなど、学校以外の方々と接することが多くなります。そうしたときに写真付きの自分の名刺を持って行けるとすてきだなと思って、授業のなかでつくることにしました。

名 刺づくりにおける生徒たちのメインの活動は友だち同士で写真を撮りあうこと。タブレットPCはアームで固定し、大型のモニターに

つなぎ、スイッチを操作しやすいように設置すれば、姿勢保持が困難な生徒でも被写体を確認しながら撮影できます。スイッチを押し続けば連写も可能で、その中からいい写真を選ぶことができます。普段は教員との関わりが多い生徒たちもこのときは友だちに気持ちを向けることになります。実習の打ち合わせで名刺を出したとき、施設職員から「すごくいいね」と声をかけられ、その生徒は誇らしげだったということでした。保護者からも好評で、「定期通院のときに配りまくりました」という声も寄せられました。

一 のリモコンシャッターは学校以外でも活躍**二** しています。最近知り合った中学校の知的障害特別支援学級に通う肢体不自由のAさんにプレゼントしたところ、お母さんのスマホで撮影した花や電車の写真がメールで届きました。休日にお母さんと近所を散歩しながら撮影を楽しんでいることです。手を動かせる範囲や操作に制限がある場合、車椅子に乗りながらでも、撮影することができます。